

「生物多様性 日本アワード」第1回受賞者決定について

本年6月4日(木)(財)イオン環境財団(理事長 岡田卓也 イオン株式会社名誉会長 相談役)と環境省が創設した「生物多様性 日本アワード」において、本アワードの審査委員会を開催した結果、8つの優秀賞が決定しましたのでご案内いたします。

「生物多様性 日本アワード」は、2010年10月に愛知県名古屋市で開催される生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)に向けて、「生物多様性の保全」及び「生物多様性の持続可能な利用」を推進することを目的に、(財)イオン環境財団と環境省が創設したものです。

この度、第1回目となる「生物多様性 日本アワード」の優秀賞8つが、審査委員会による厳正な審査に基づき決定されました。(受賞者は別紙をご参照下さい)

また、10月9日(金)愛知県名古屋市で開催の授賞式において、8つの優秀賞の中から選定される「生物多様性 日本アワード グランプリ」の受賞者を発表し、顕彰を行う予定です。

(財)イオン環境財団では、来年のCOP10開催に向けてさまざまなサイドサポートに取り組んでまいります。

記

「生物多様性 日本アワード」の概要

(1) 目的

2010年10月に愛知県名古屋市で開催される生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)に向けて、「生物多様性の保全」及び「生物多様性の持続可能な利用」を推進することを目的にしています。

(2) 名称

「生物多様性 日本アワード」(英語名: Japan Awards for Biodiversity)

(3) 主催者

財団法人イオン環境財団及び環境省(生物多様性 日本アワード 実行委員会)

(4) 顕彰の要件

国内における個人・団体による取り組み、もしくは国内に本拠地を置く個人・団体による海外における取り組みであって、「生物多様性の保全」又は「生物多様性の持続可能な利用」に顕著な貢献が認められるものを対象とします。

(5) 受賞者

別紙をご参照下さい。

「生物多様性 日本アワード」第1回受賞者一覧

1 A : 保全フィールド部門 優秀賞
取 り 組 み : 知床の生物多様性に関する取り組み 実施主体者 : (財)知床財団
1 B : 利用フィールド部門 優秀賞
取 り 組 み : 企業との協働による谷津田の保全 実施主体者 : NPO法人 アサザ基金及び関係企業等
2 A : 保全リサーチ部門 優秀賞
取 り 組 み : 「農」に着目した地域における生物多様性の保全のための活動 実施主体者 : NPO法人 農と自然の研究所
2 B : 利用リサーチ部門 優秀賞
取 り 組 み : エコロジカルネットワークの研究と実施 実施主体者 : 鹿島建設(株)
3 A : 保全プロダクト部門 優秀賞
取 り 組 み : 「コウノトリ育む農法」とコウノトリ共生米 実施主体者 : コウノトリ育むお米生産部会、JAたじま NPO コウノトリ湿地ネット、豊岡市、農業改良普及センター
3 B : 利用プロダクト部門 優秀賞
取 り 組 み : 生物多様性保全を含む10の調達方針 実施主体者 : 積水ハウス(株)
4 A : 保全コミュニケーション部門 優秀賞
取 り 組 み : 「生物多様性について考えてみませんか」定期的な取扱い 実施主体者 : 中日信用金庫
4 B : 利用コミュニケーション部門 優秀賞
取 り 組 み : ボルネオはあなたが守る！キャンペーン 実施主体者 : サラヤ(株)